



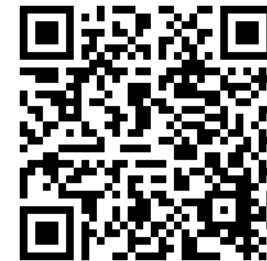
コリーナ矢板自治会
バス管理運営会事務局
2021年10月 v.2

目次

- ① コリント号の歩み
- ② 矢板市役所からの提案説明(コロナ矢板自治会・玉田行政区会) 2020年10月
- ③ 住民への説明会とアンケート 2021年 2月
- ④ 矢板市役所との打合せ 3月
- ⑤ 愛称・キャラクター募集 5月
- ⑥ 運転講習会 6月
- ⑦ ~⑧ バス説明会1の様子 8月
- ⑨ 時刻表と路線図
- ⑩ 運行開始 9月21日
- ⑪ 記者発表・新聞記事 8月~
- ⑫ NHK取材・放映 10月8日・10月26日
- ⑬ 運行開始セレモニー 10月16日

コリント号 

最新情報はQRコードで
(管理組合HP)



コリント号の停留所
コリント号の時刻表
コリント号年間パスの購入方法
コリント号の運行情報

① コリナ号の歩み 1/3



・2020年、矢板市営バス路線の縮小決定

市営バスは中央循環バスのみを残し、コリーナ他、各路線を廃止する旨の方針が市から出された。

・廃路線関係自治会の区長の連名で路線バスを継続する旨の嘆願書提出

市営バスはコリーナ地区の住民の足として主に高齢者、小学生の利用がある事から継続依頼書を提出した。しかし2021年9月末で縮小が決定し置き替わりはデマンド交通。



・市は交通空白地域にデマンド交通を用意

市バスの替わりとなる公共交通機関として市が用意したのが他の該当地区も含めてデマンド交通であった。

必要な時に予約し目的地まで運送してくれるというもの。他の自治体で導入実績もあり一見便利そうだが、市の提案では、運行規模が小さく、乗車可能な時間が不明で通院・通勤・通学など時間に縛られる方には使えない。コリーナの居住者数、地域の広さからデマンド交通はメリットが無い事が分かった。

・市から“地域共助型交通”(*1)の提案 (補助金が出る関係でデマンド交通との併用は認められない)

市はコリーナ地区には地域共助型交通が今の路線バス、それ以上の利便性があると分析をした。市は補助金を出す、手続き、運転などの運用は自治会など利益を伴わない団体が自ら行う必要がある。そのハードルの高さから栃木県内では矢板市コリーナ自治会地区(*)が最初の導入となった。 (*:正確にはコリーナ矢板自治会・玉田行政区の共同運営)

①コリント号の歩み 2/3



・“地域共助型生活交通”の取り組み決定

住民に対する説明会(2月)を実施し、3月末の自治会総会にて運営の承認を得た。(バス運営経費は現自治会予算とは別枠)
自治会内にバス運営会事務局を設け、市と連携し大きな課題であった関係交通機関を”交通会議”を行って承認を得た。
次に県へ申請書類の提出をし承認を得た。

今後の推進に当たり自治会のマンパワーだけでは出来ないと判断し、コロナ施設管理組合に事務関係を業務委託した。

・運転ボランティアの募集と講習会実施

一番大事で懸念事項だった、運転して頂ける方の募集(有償ボランティア)を行い、又このバスを普通乗用車免許で運転できる為の公的な講習会を実施(6月5日)。講習には女性を含む30代から70代まで12名の方が受講。
他、2種免許を持つ方を含め14名が運転ボランティアとして登録。

・バスの愛称・キャラクターを住民より応募

コロナ在住の方からの応募があり、愛称は『ちいバス』・『コリント号』 及び可愛らしいキャラクター『コリント君、コリンちゃん』を決定。



・関係書類の整備

バス運営会事務局によって運営会規約、安全運転の為の運行マニュアル、点検表などを作成。

①コリント号の歩み 3/3

・運賃・路線・時刻表の検討

運賃及び路線(コリーナ内は現状バス路線、停留所)の決定。

区分	大人(中学生~74歳)	75歳以上・小学生	未就学児
年間パス	3,000円		無料
1回乗車	200円	100円	
1日乗車	400円	200円	



路線時刻はアンケートを指針にコリーナ住民目線を意識し、JR片岡駅、市内中央循環バスとの接続及び小学生下校時間を考慮。

・運転手ローテーション

運転手さんのローテーションは数カ月単位で事前に決定。

事務局とは、LINEのグループ連絡網で緊急連絡に対応。



バス停 デザイン

・マスコミ報道及び運行開始セレモニー

栃木県で初めてのケースでもあり、市の記者発表後(8月20日)、3社で新聞記事掲載
NHK(宇都宮)の取材も受け(10月4日) "HNKとちぎ630"で放映された(10月26日)
セレモニーは矢板市長出席のもと、ホテル・コリーナの駐車場にて実施(10月16日)。

以上、これまでの経緯です。多くの部分で市役所総務課のご尽力とアドバイスを頂き、又施設管理組合の協力のもと自治会として実行できたものです。

*1 “地域共助型交通”とは？

- 交通空白地と認められる地域において、地域が運行主体となって運行内容を決定し、ドライバーも地域住民が担う交通体系で、道路運送法第78条第2号に決定された自家用有償旅客運送の一つ。
- コリント号は栃木県で初の導入例となる。



② 2020年10月 矢板市役所・総務課 説明



何故、地域共助型交通がコロナ地区に必要なのか、具体的な運用に必要な経費見積もり及び市から補助金など市の担当の方から説明して頂きました。また、栃木県ではこの導入に何度か挫折しているので簡単では無い事も認識しました。

地域共助型生活交通の試用運行 (資料)

*2020年10月16日 矢板市総務課 資料より

■世帯数及び人数(2020年6月1日現在)

	コリーナ矢板	玉田
世帯数	363世帯	21世帯
人数	701人 (男353人、女348人)	54人 (男29人、女25人)
12歳以下	54人(小学生37人)	5人(小学生5人)
65歳以上	264人(37.7%)	20人(37.0%)
75歳以上	110人(16.0%)	8人(14.8%)
既存市営バスの利用	2,044人/290日(1日当たり延べ7人) *2019年度実績(コリーナ、玉地地区方面の利用者のみ)	

■費用の目安

項目	年間費用(円)	備考
車両リース代	840,000	月70,000 x 12カ月 税関係・自賠責含む
ドライバーへの謝礼	1,300,000	5,000円/日 x 年間稼働日数(260日)
保険代	150,000	任意保険(他市参照)
メンテナンス費	150,000	車検、点検、タイヤ交換等
運転講習費	50,000	
小計(A)	2,490,000	
燃料代(B)	468,000	燃費 10Km/L, ガソリン150円/L (例)片道20.0Km x 6便、260日運行)
合計(A) + (B)	2,958,000	

③ 2021年2月住民説明会・アンケート実施

コロナ地区の公共交通（バス）について
住民に市役所の意向について説明会を実施



住民に皆様からの要望・意見について、アンケートを実施



アンケート結果をバス運行に反映すべく市と協議

コロナの公共交通(バス)は どうなるの？

ヒアリングと説明会の実施

1. 現状と今後の計画・見通しを説明します
2. 皆さんの要望・意見を今後の計画に生かします

今よりも使いやすく便利なコロナバスへ！

今後私たちが住み続ける限り共にあるコロナバスへ！

今だけでなくいずれ必要となる人のためのコロナバスへ！

- ・学校の下校時間に合わせて片岡駅に停車して欲しい
- ・塩谷病院の診療開始に合わせて運行して欲しい
- ・大型スーパーに横付けして欲しい（大きい荷物が大変）
- ・自宅の前で降ろして欲しい
- ・そろそろ免許返上したいのだけど、...大丈夫かしら
- ・利用料はどのくらいかしら etc...

困っている方も 今は全く困ってない方も

現役バリバリのドライバーの方も 小学生も 保護者の皆さんも
みんなが作るコロナの社会インフラ「新バスシステム」のために
是非 ご意見ご要望をお聞かせ下さい

日時：2月20日（土）21日（日）9時から
2月22日（月）24日（水）26日（金）19時から
場所：公民館

★皆さんの都合よい時間にお越し下さい。また公民館で行われるサークル活動の場にもお邪魔でなければ伺い、同様の説明をいたします。会は説明15分、その後質問とヒアリングの時間です。アンケート用紙もご用意します。お忙しい方は後ほどご記入下さい。また説明会の日時に都合悪い方は出張ヒアリングもいたします。また公民館への移動の足にお困りでしたらお迎えに参上します。皆さんのご意見を頂ける機会をできる限り設けたいと考えています。是非、下記の番号までご連絡下さい。

自治会会長 井舛 泰正
コロナバス担当 戸井 出琉
お問い合わせ：080-3350-8152（戸井）

④ 2021年3月 市役所と打合せ



基本は自治会が主体となって進めるが、市、県、各交通機関との調整、諸々な現市バスの運行、安全のノウハウなど、矢板市総務課のご尽力と指導があって自治会として推進出来ました。（この他にも必要に応じて打合せを適時に実施）

④ (参考)市役所との打合せ(例) 6/Apr/2021

- ・バス打合せ メモ
- ・日時: 2021年4月6日 13:30 から14:45
- ・場所: コリーナ公民館
- ・出席者: 矢板市役所 総務課 高瀬氏、船山氏
- ・玉田区長 斎藤氏
- ・コリーナ自治会 戸井氏、井艸氏、岡部
- ・■打合せ内容
- ・①会議目的
- ・公共交通会議に向けて運行内容許可申請、運賃、路線の確認
- ・スケジュール確認など
- ・②コリーナ側から”運営規約”案の説明
- ・バス運行は自治会総会で賛成された、玉田は総会が無いが既に賛成。
- ・バスの事務所は管理組合事務所とし事務員の活用など自治会から委託する
- ・第2条目的の中に”住民主役”の文面を追加する。
- ・第4条”玉田自治会”は”玉田行政区会”とする
- ・事務局、管理組合事務1名を役員におく。
- ・監査役は特別に置かない。
- ・業務監査は必要と考えている
- ・第7条 運営財源は”補助金を主財源”とすることを主張する文面にする。
- ・バス総会は自治会総会で議決代行する。自治会の議案の一つの位置づけ。
- ・自治会とは別分化会とする
- ・15条 総会とは自治会の総会でも承認できる
- ・補助金初年度は10月から3月、次年度は4月～3月として支給されると理解。

・市から =>市の補助金は2種類あり A“事業補助”及び B“運営費補助”バスはBとなる模様。Bの場合繰越金は次に回せる。因みに“きらきらサロン”はAで繰越金にはできない。

・総会の監査を受けないと市に報告できない。市の締め切りに合わせられるか、2月締めを考える。

③市からコメント

・2条 バス路線の廃止 => バス路線の見直し(廃止ではない。)

・5条 役員とし会長は区長とあるが、区長は多忙では？

・それでよし

・附則 施行が10月1日とあるが書類を県に提出する際すでに運営規約が出来ている事が条件なので5月とすべき。

③その他 自治会から

運転講習会、現状5名程受講者がいるが5月の土、日で決めて欲しい。

会場はこの公民館でもよい、実技があればホテルの駐車場を借りられる。

・この規約修正、登録申請データの市への提出は来週を予定。(目標4/13)

・運賃の確認 年間パス 3,000円 乗車券 200円 子供(小学生)、75歳以上 100円

* 市内循環バス、75歳以上は無料(予定)なのでバスで市内まで行ければ便利が増す。

・自治会としては、バスの名称/愛称を”コリーナだより”で募集する

・バス運転者は、それに従事する者であることを認識する為にユニホーム、帽子など必要と考える

④市からの導入スケジュール表

・直近予定は、5月”公共交通会議” 戸井会長にも出席して欲しい。

・車両納車が8月。納車時点でリース料が発生する。

・点検は3カ月毎に必要。点検時は代車を予定される。

・バス停は表示板の作成(デザイン、交換なども要検討)

⑤ コリーナ・玉田共助バス 愛称・キャラクターの募集(2021年5月)

ちいバス

コリンタ

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 ちいバスコリンタゴー | 11 ハスリン号 |
| 2 タマコリン号 | 12 カルガモ君 |
| 3 コリンタ号 | 13 ホタルの丘 |
| 4 コリタマ号 | 14 ぶちぼすアツヒル |
| 5 ぶちバスコリンタスマイル | 15 ちいぼすヒルスウォーク |
| 6 ヒルスライナー | 16 おらじ号 |
| 7 ちょこっとバス | 17 おにむし号 |
| 8 CTライナー | 18 らいさま号 |
| 9 ぐるりんバス丘のそよ風 | 19 めっけ号 |
| 10 おさんぽバスてくてく | 20 すけるバス |
| | 21 はかいく号 |
| | 22 ちっとんべーバス |



女の子 コリンちゃん



男子 コリンタくん



フラワーちゃん

ツリーナ



全てコリーナ在住の方からの応募です。

⑥ 2021年6月 運転講習会 12名受講



『法律を守り、安全に運転する』（講師に来て頂き公民館にて実施）

バスの運行を書面で管理できるよう『運営規約』、運転ボランティアの方の為に『安全運行マニュアル』も整えました

⑥ 講習会 終了証

講習会(座学及び実習)の終了後、問題なければ、合格となり修了書が講師より各自に手渡しされる。
今回、受講者は全員合格！！



茨移連第 21060003 号

修 了 証

殿

生

道路運送法施行規則（昭和26年運輸省令第75）
第51条の16第1項第1号に掲げる講習を修了
したことを証明する

講習の種類：市町村運営有償運送等運転者講習

講習の名称：交通空白地有償運送運転者講習

2021年6月5日

講習実施者

国土交通大臣認定講習（認定番号：国自旅第328号）

茨城福祉移動サービス団体連絡会

会 長 横田 能洋



⑦ 2021年8月 バス説明会1 (コロナ禍で屋外で実施)



路線バスが無くなる？

それに替わる、コリント号ってどうなの？

皆さん真剣です。

⑧ 2021年8月 バス説明会 2



豊かな自然の中での説明会
これがコリーナ矢板ですね。

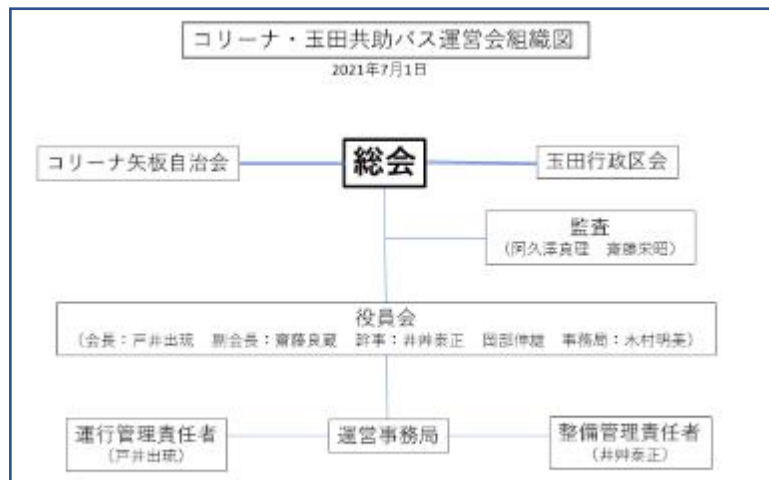
⑧ (参考)バス説明会資料から一部抜粋

コリンタ号説明会

2021年8月25・29・30日

●組織

- ・ 構成員はコリーナ自治会会員及び玉田行政区の会員
- ・ 所在地はコリーナ矢板自治公民館 運行管理は管理組合事務局に委託



●運行内容 (矢板市地域公共交通会議での承認が必要)

- ・ 自家用有償運送(交通空白地有償運送)
- ・ 定時定路線型 車両はトヨタ ノア 7人乗り (乗客は6人)
- ・ 利用者は原則構成員の家族
- ・ 運行日: 月曜日から金曜日 (8/13-15、12/30-1/3は運休) 臨時運行(選挙時など)

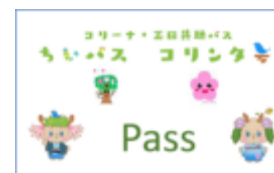
・ 料金

区分	大人 (中学生~74歳)	75歳以上・小学生	未就学児
年間パス	3,000円		無料
1回乗車	200円	100円	
1日乗車	400円	200円	

- ・ 運行内容は利用状況により半年後をめどに見直しを図ります。(本数、時刻表、停留所) その場合は「矢板市地域公共交通会議」での承認が必要になります。
- ・ 運行情報はHP (しばらくは管理組合のHPを間借りします) に掲載します
QRコードあるいは korinayaita.com まで
- ・ 運営会事務局 (月・火・木・金 9時から15時半) 0287-48-1553(平日9時から16時)
- ・ 運行管理責任者 (戸井) : 080-3350-8152・整備管理責任者 (井井) : 090-1796-9777

○年間パス

- ・ 8月25日からコリンタ号の年間パス (3,000円) を発売します
- ・ 自治会正会員・賛助会員1世帯につき3,000円です
- ・ 例えば1世帯4人家族 (同居家族に限りません) の場合は3,000円で4枚の年間パスを発行します
- ・ 路線区間内であればいつでもどこでも何回でも乗り降り自由
- ・ 有効期限は購入日から1年間です (9月21日以降)
- ・ ご購入は公民館備え付けの購入申込書又はQRコードから取得・記入し 運営会事務局 (管理組合事務所・月火木金9時から15時半) にお持ち下さい
- ・ メールでのお申し込みも承ります colina.commu@gmail.com



コリンタ号のページへ
アクセス

○乗車にあたって

- ・ 乗車は各停留所及び公民館駐車場からお願いします
- ・ 年間パスをお持ちの方は乗車時に提示し降車予定停留所をお知らせ下さい
- ・ 料金は前払いです 備え付けの貯金箱風の缶に入れて下さい 釣り銭は用意していません
- ・ 降車は玉田及びコリーナ内の路線上であればどこでも可能です 但し安全に降車できる場所に限ります
- ・ 子供の定員もシートベルトの数の関係で大人と同じといたします
- ・ 下校時片岡駅西口で子供が乗り切れないときはピストン運転をいたします
- ・ レギュラー運転をする方は皆さんコリーナの住人です
- ・ 運行にあたっては市バスの運行に準じて、運行マニュアル、安全マニュアルの他に点検表や
運行表など安全且つ確実な運行のための書類を整備しています
- ・ コリンタ号が末永く続くために皆さんのご協力とご理解をお願いいたします

○今後のスケジュール

- ・ この説明会以降 コリンタ号の年間パス (サポーターバス) の申し込みを開始します
- ・ 9月18日 (土) 14時から コリーナ矢板ホテル駐車場で「コリンタ号発足セレモニー」を開催します 是非皆さんもこのセレモニーにご参加下さい
- ・ 9月21日 (火) 8:15 公民館前よりコリンタ号が船出をいたします

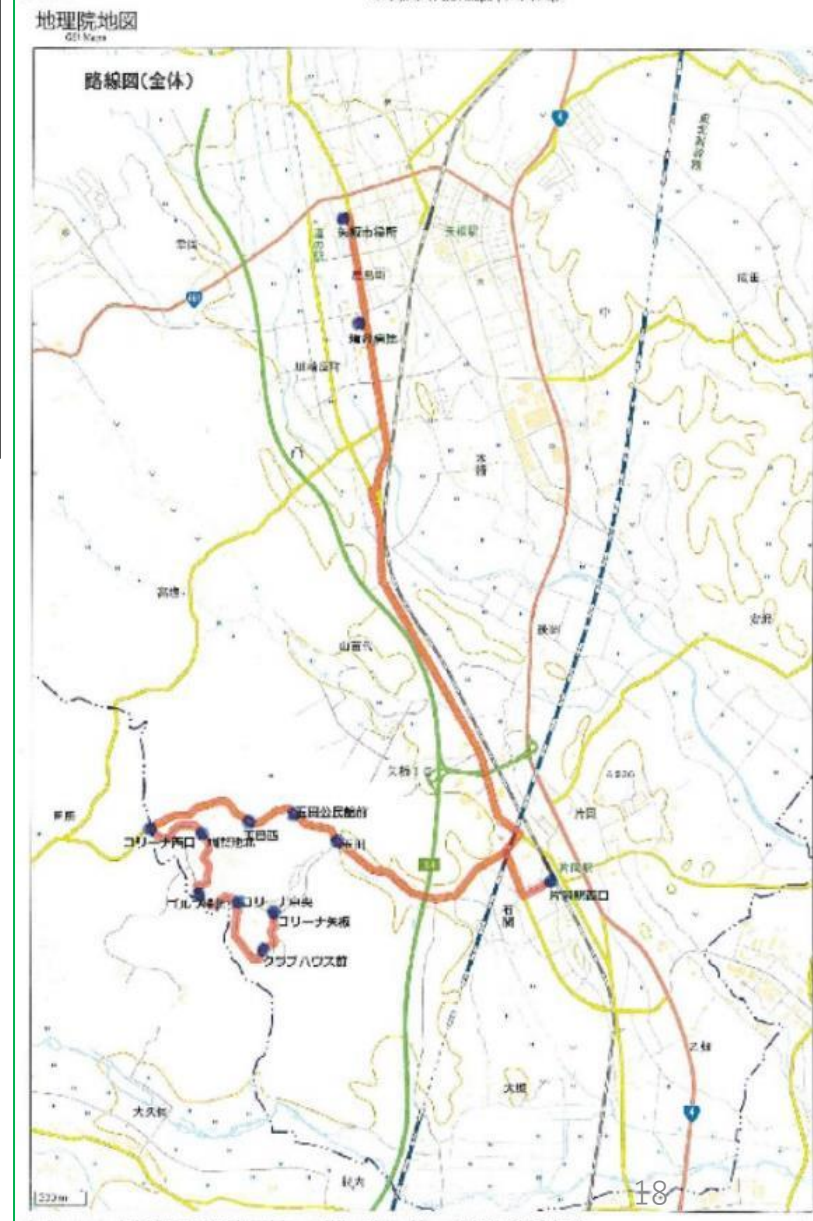
⑨ 時刻表と路線図

コリント号 発車時間														
2021年9月 V2.3														
停留所	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便				
8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時				
コリーナ公民館	15	15	15	11:20	5	14:11	35	15:10	15	50	30	18:01	30	19:00
コリーナ矢板	16	16	16		6		36		16		31		31	
クラブハウス前	17	17	17		7		37		17		32		32	
コリーナ中央	18	18	18		8		38		18		33		33	
ゴルフ場北	19	19	19		9		39		19		34		34	
調整池北	21	21	21		11		41		21		36		36	
コリーナ西口	22	22	22		12		42		22		37		37	
玉田西	23	23	23		13		43		23		38		38	
玉田公民館前	24	24	24		14		44		24		39		39	
玉田	25	25	25		15		45		25		40		40	
片岡駅西口	30	30	30	11:05	20	56	55	35	48	47				
塩谷病院	45	45	45		35		-	-	-	-	-	-	-	-
矢板市役所	50	50	50		40		-	-	-	-	-	-	-	-
片岡駅西口	09:10	10:10	11:05	56			-	-	-	-	-	-	-	-
コリーナ公民館	09:10	10:10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

地域密着を目指し

- ・JR片岡駅の電車の時刻を考慮
- ・朝便及び午後一番は要望の多い塩谷病院、市役所まで
- ・市内循環バスの時刻を考慮
- ・午後便は小学生の下校時時間を考慮

バス停は旧市営バスのものをリサイクル
表示板はコリント号仕様に交換。



*道路状況により前後する場合がありますのであらかじめご了承ください

*土曜、日曜、祝日、12/30~1/3、8/13~15 は運休

区分	大人(中学生~75歳)	75歳以上・小学生	未就学児
年間バス	3,000円		
1回乗車	200円	100円	無料
1日乗車	400円	200円	

問い合わせ先：コリーナ矢板自治会 バス管理運営会事務局
0287 48 1553 (月、火、木、金 09時~16時)

⑩ 2021年9月21日運行開始 1日8便



コロナ影響で、運用セレモニーは後日実施。車は半導体不足の影響で納入遅延、しばらくは代車で運用。運用マニュアルに沿って、安全運転で出発進行！

⑪ 矢板市役所 記者発表2021年8月20日

記者発表資料

令和3年8月20日（金）発表・提供

件名	地域共助型生活交通「コリシタ号」の運行内容及びセレモニー（出発式）の開催について		
	<p>矢板市の公共交通再編に伴い、コリーナ矢板・玉田地区では、県内初の取り組みとなる地域共助型生活交通を運行し、必要経費（燃料代、保険代、ドライバー謝金、車両メンテナンス費用、運転講習費用等）は市から補助金を交付します。（今年度150万円）</p> <p>地域共助型生活交通は、交通空白地と認められる地域において、地域が運行主体となって運行内容を決定し、ドライバーも地域住民が担う交通体系で、道路運送法第78条第2号に規定された自家用有償旅客運送の1つです。下記のとおり、運行内容及びセレモニー（出発式）についてお知らせします。</p> <p>【運行開始セレモニー（出発式）】</p> <p>1 主催 コリーナ・玉田共助バス運営会 矢板市</p> <p>2 協力 ホテル&テニス コリーナ矢板</p> <p>3 日時 令和3年9月18日（土） 14:00～14:30</p> <p>4 場所 ホテル&テニス コリーナ矢板 駐車場</p> <p>5 内容 あいさつ、テープカット、試乗会など</p> <p>【運行内容】</p> <p>別紙のとおり（9月21日（火）運行開始）</p> <p>【導入の経緯】</p> <p>コリーナ矢板・玉田地区は、JR片岡駅への移動や片岡小学校からの下校等で、定時定路線バスの需要が多い地域であり、予約型のデマンド交通では地域の移動需要に合わないため、地域や関係機関と協議の上、地域共助型生活交通の導入を決定しました。</p> <p>※提供資料の有無：<input checked="" type="checkbox"/>有（別添のとおり）・無</p>		
担当課・担当名	総務部総務課管財担当		
担当者名	高瀬 智明		
電話番号	0287-43-1113	内線電話番号	233

地域共助型生活交通 運行内容

1. 運行主体	コリーナ・玉田共助バス運営会
2. 所在地	矢板市大槻2320-71 コリーナ矢板自治公民館内
3. 代表者	戸井出 琉（コリーナ矢板区長）
4. 運送の種類	自家用有償運送（交通空白地有償運送）
5. 路線、ダイヤ	別紙のとおり（定時定路線型）
6. 車両	7人乗り（運転手含む）1台（市から無償貸与）
7. 旅客の範囲	コリーナ矢板自治会員、玉田行政区の住民
8. 運行日	月～金曜日 （土・日・祝日、お盆（8/13～8/15）、年末年始（12/30～1/3）は運休） ※その他、選挙等の行事がある場合に休日臨時運行を予定
9. その他	・陸車のみ、バス路線上で周辺交通に支障がなく、利用者の安全が十分に確保される場合に限り、認める。（乗車はバス停のみ） ・共助型運行地域は、デマンド交通の運行対象外とする。

料金

区分	大人 (中学生～74歳)	75歳以上・小学生	未就学児
年間バス	3,000円		無料
1回乗車	200円	100円	
1日乗車	400円	200円	

・令和3年9月21日（火）運行開始

キャラクター



コリシタくん

ロゴマーク



コリシタちゃん

コリーナ・玉田共助バス
ちいバス
コリシタ 

コリント号新聞記事1 読売新聞

読売新聞
24/Aug/2021



乗り合いワゴン 住民運転で導入

矢板、来月から

矢板市は、住民がワゴン車を運転し、乗り合い方式で利用者を運ぶ地域共助型生活交通「コリント号」を9月21日から運行する。同

型の交通は県内では初の導入となる。

運行するのはコリーナ矢板・玉田地区からJR片岡駅を経由して矢板市中心部に向かう路線と、JR片岡駅で折り返す路線。この地区には路線バスがなく、予約型のデマンド交通では地域需要に応えられないとして、導入を決めた。

運行は住民組織のコリーナ・玉田共助バス運営会（代表＝戸井出琉・コリーナ矢板区長）が行い、7人乗りのワゴン車を住民ドライバー14人が交代で運転する。

平日に1日8便運行し、お盆や年末年始は運休する。利用は地区住民に限り、1回の運賃は大人200円、75歳以上と小学生は100円とする。ワゴン車のリース代や燃料費、車両維持費など運行にかかる費用は市が補助する。



交通空白区に有償マイカー

矢板市県内初の試みスタート

矢板市は21日、コリーナ矢板、玉田両地区で自家用車などを活用した県内初の地域共助型生活交通「コリント号」の運行を始めた。交通空白区をカバーする取り組みで、同市は公共交通の再編と併せ、地域の需要に見合った持続可能な生活交通の確保を目指す。

地域共助型生活交通は、交通空白区の地域が運行主体となり運行内容を決定。自家用車などを活用し、地域住民がドライバーとなつて有償で運送を行うことができる道路運送法の自家用有償旅客運送の一つ。コリント号は市営バスの停留所を活用し、コリーナ

公民館発着でワゴン車（7人乗り）1台を月曜から金曜に1日8便運行。J R片岡駅や国際医療福祉大塩谷病院、市役所などに乗り入れる。運転手は登録した住民14人が交代で務める。燃料や保険、ドライバーへの謝礼金といった必要経費は市が全額負担する。

両地区はJ R片岡駅への移動や小学校からの下校で路線バス需要が多い。同市では10月から公共交通をデマンド交通と中央部循環路線に再編。路線バスは市中心部のみで運行となった。市は地域などと協議、同生活交通の導入を決めた。

（伊沢利幸）

コリント号新聞記事 4 下野新聞

下野新聞
18/Oct/2021



コリント号 運転ボランティアの皆さん



板 共助型交通好調な出足 矢 記念セレモニー、試乗も

【矢板】コリーナ矢板と玉田の両行政区でつくる運営会が運行する地域共助型生活交通「コリント号」の運行記念セレモニーが16日、石関のホテル&テニスコリーナ矢板の駐車場で開かれた。

共助型交通は白ナンバーの自家用車を使い、営利としない範囲で有償運送する仕組み。利用者や地域の実情に応じ柔軟に運行できるメリットがある。県内の導入は市が初めてで、先

月下旬に運行を開始した。セレモニーには、斎藤淳一郎市長ら市や県などの関係者や地元住民約60人が出席した。

運営会の戸井出琉会長



コリント号に試乗する斎藤市長（右から2人目）ら

(63) は「実動18日で延べ170人が利用する好調な滑り出し。いつか自動運転が可能になる日まで、未永く続けていきたい」とあいさつ。テープカットや試乗も行われた。(太田啓介)

⑫-1 NHK取材 (4/0ct/2021)



取材内容(3名)

交通空白地域の取材です。コリタ号に注目し実際に乗車、運転手さん、乗客へのインタビュー及び当日、市によるバス停を設置している様子や時刻表取り付け様子などを取材されました。

⑫-2 NHK “とちぎ630” (10月26日)



⑬ コリント号 運行開始セレモニー 16/Oct/2021
ホテル コリーナ矢板 14時～



コリント号キャラクターのデザイナー
記念品贈呈



テープカット
左より

青木県会議員、斎藤市長、戸井区長、今井議長、田城部長（栃木県庁）

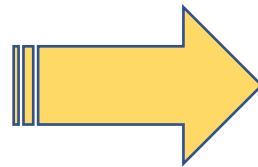


コリント号試乗会



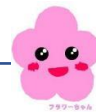
参加頂いた皆様と報道関係者
小雨のなかありがとうございました

Fin



旧市営バス(片岡駅)

～2021年9月 今までありがとうございました！



2021年9月21日～ いつかは自動運転に